

自然に親しもう / いじめをなくそう



冬キャンプから (左)たっぷりの雪に恵まれたスキー場



(右)千葉市少年自然の家で里山探検



(左)ピンクシャツデーのPRでリーダーたちアフタースクールへ



(右)国際ふれあいフェスティバルの立ち番もピンクの衣装で

千葉 YMCA ニュースボード

2025 年 3 月 1 日 第 304 号

<https://www.chibaymca.net/>

冬キャンプ野に山に

千葉 YMCA の今冬のキャンプは、12月から2月にかけて、次のプログラムを順調に実施しました。

12月27日ー30日 エンジョイスキーキャンプ(スノーパーク尾瀬戸倉・丸沼高原スキー場)参加者36名

1月11日ー13日 どきどきウィンターキャンプ(千葉市少年自然の家)19名

2月21日ー24日 エキスパート&雪遊び・はじめてスキーキャンプ(スノーパーク尾瀬戸倉・丸沼高原スキー場)

スキー場は大量の雪で嬉しい悲鳴でした。自然の家も冬ならではの楽しみがたくさんあります。どのキャンプにも、インフルエンザなどで多少の参加取消があったのは残念でした。しかしコロナ禍からは着実に回復し、夏と合わせ、シーズンキャンプはYMCAの「顔」となっています。

◆ピンクシャツデー年々盛んに

2月26日(2月最終水曜日)はピンクシャツデー。「いじめをなくそう」キャンペーンの日です。YMCAは2月を通じてこの運動を展開しています。

今年もリーダーたちがピンク色に着飾って、YMCAが運営している三つのアフタースクールを訪問し、児童の皆さんにPR活動を行いました。

2月9日に千葉市役所1階の市民ヴォイドで開催された「ちば市国際ふれあいフェスティバル」への出展でも、YMCAの職員・ボランティアはピンク色に身を包み、いじめ反対運動を市民にアピールしました。

◆少年自然の家運営を継続へ

千葉YMCAは、千葉市少年自然の家のプログラム運営を2005年の開所以来担ってきました。今年度末で、千葉市との5年間の指定管理の契約が終了しますが、このほど次の5年間の指定管理者(の成員)に選ばれ、この事業の継続が決まりました。

アフタースクール事業とともに、千葉YMCAの活動の場として、これからも市民の期待に応えて参ります。

◆インドからワイズ代表のお客

ワイズメンズクラブの国際交流で1月26日ー2月9日、インド・ケララ州のワイズメン、ヴェンカテシュ夫妻が来日。成田迎えを千葉ウエストクラブが担当、歓迎会を催しました。夫妻は東京、川越、所沢、御殿場東山荘を歴訪、最終千葉クラブでホストし、成田へ送りました。



(写真は千葉クラブの例会にて。中央がヴェンカテシュ夫妻)

- 千葉センター 043-222-3811
 - 船橋地域デポ 047-425-6366
 - 千葉市少年自然の家
chiba-shizen.jp 0475-35-1131
 - 千葉市立千城台みらい小学校アフタースクール 043-236-1701
 - 千葉市立坂月小学校アフタースクール 043-236-5550
 - 千葉市立千城台東小学校アフタースクール 043-237-7376
- ニュースボード編集: 青木一芳(理事)
メール kkaoki@myad.jp